



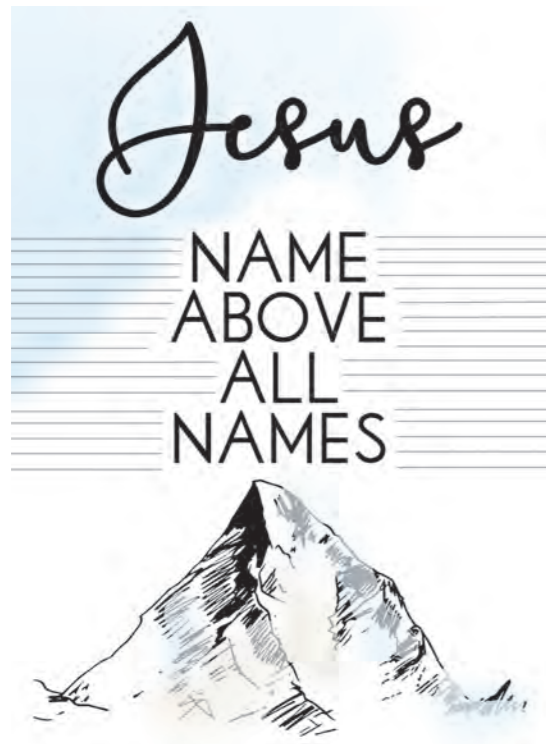
The Salvation Army in Japan  
Annual Report  
救世軍  
年次報告  
2017-2018





### 救世軍のミッションステートメント

万国的ムーブメントである救世軍は、  
共同のキリスト教会における  
福音主義を代表する一派である。  
そのメッセージは、聖書の基盤に立ち、  
その働き（ミニストリー）は、神の愛に動機づけられ、  
その使命は、イエス・キリストの福音を宣べ伝え、  
主イエス・キリストのみ名において、  
分けへだてなく  
すべての人々のニーズに応えることである。



2018年 救世軍標語

「イエス、あらゆる名にまさる名！」

このため、神はキリストを高く上げ、あらゆる名に  
まさる名をお与えになりました。(9節)

聖書箇所：フィリピの信徒への手紙 2章 5～11節

### 救世軍社会福祉事業及び医療事業の理念

救世軍社会福祉事業及び医療事業は、  
キリスト教の精神と、救世軍の主義に従い、  
すべての人の全人的存在の価値を尊び、  
キリストが一人ひとりを愛されたことを模範とし、  
キリストに仕えるように個人個人に仕えることを  
その事業の基盤とする。

### もくじ

|  |                  |
|--|------------------|
| 子どもたちの未来のために<br>社会鍋募金及び支援<br>佐野小隊(教会にあたる) 子ども食堂<br>救世軍サポート会ご案内<br>子どもたちの夢 綱島 実<br>祈りによって支えられる働き<br>呉保育所 園舎完成 | 3<br>4<br>4<br>5 |
| 青年たちが希望ある人生を生きるために<br>レボリューション・ハワイ<br>2017年の主な行事 青年デー他<br>学校での演奏会や講演<br>アメリカ スターレイク・キャンプ                     | 6<br>7           |
| 生きがいある人生のために<br>高齢者介護40年 村上 真<br>柏寿会 地域の高齢者のために<br>最期の時まで恵みの家で 細貝 順子<br>高齢者介護の国際会議に参加<br>映画『地の塩 山室軍平』        | 8<br>9           |
| キリストのように人々に仕えるために<br>わたしの兄弟として<br>東京地区での街頭生活者支援<br>刑務所での支援<br>女性のための働き<br>アルコール依存症に苦しむ人々へ                    | 10<br>11         |
| 医療の働き<br>20年来のボランティア<br>リハビリに通って37年!   | 11               |
| 災害救援・復興支援活動<br>東日本大震災復興支援<br>九州水害被災地支援<br>福島から避難している方への支援<br>協力体制のもとでの支援のために<br>海外での支援活動                     | 12<br>13         |
| 2017年海外支援のための献金報告<br>開設記念を迎えた小隊(教会にあたる)<br>第1回救世軍社会鍋俳句コンテスト<br>2017年感謝祭募金結果報告<br>2017年新刊書                    | 14<br>14<br>14   |
| 小隊(教会にあたる)・社会福祉施設・<br>病院・その他施設   | 15               |

## 子どもたちの未来のために

救世軍の働きは、幼い子どもから、青年、壮年、高齢者のそれぞれのニーズに応えるもの  
です。少子高齢化の今、子どもたちの未来のためにできることはなにか、模索しています。

「子どもたちの未来のために」のテーマのもと、  
第2回救世軍チャリティーコンサートが、2018  
年3月22日(木)東京オペラシティ コンサート  
ホールで開催されました。会場内に設置された社  
会鍋には多くの方がご協力くださり、救世軍サポ  
ート会(下記参照)へ入会して下さる方も多く  
ありました。

出演者のパイプオルガン奏者松居直美氏の演奏、  
東京少年少女合唱隊の合唱は聴衆を魅了し、来日  
中のニューヨーク・スタッフ・バンド(救世軍ア  
メリカ東部軍団に所属する、英国式ブラスバンド)の信  
仰に裏づけられた技術と力強い演奏が、救世軍内  
外の多くの人々に音楽の力を印象づけるひと時と  
なりました。



ジャパン・スタッフ・バンドも加わっての合唱(チャリティーコンサートにて)

## 社会鍋募金及び支援



埼玉県熊谷市での社会鍋

2017年12月に全  
国でおこなわれた社会  
鍋募金。今回も多く  
の方にご協力いただきま  
した。

全国の募金結果は、  
14,635,299円でした。

社会鍋に託された資  
金は、各地の救世軍を  
通して地域のニーズを  
聞き、様々な支援に役  
立てられています。地  
域の社会福祉活動をし  
ている団体への支援や、  
街頭生活者支援などに  
用いられております。

(10ページ参照)



子ども食堂の働きを支援(福岡県)

### 救世軍サポート会ご案内

2016年に発足した救世軍サポート会。2016年度末に  
は、76の個人・団体様より、2,025,687円のご協力をい  
ただきました。多くの方に、救世軍の働きを支えていた  
だき、心より感謝しております。さらに、会員となってく  
ださる方を募集しております。

年会費 個人会員 一口 3,000円  
団体・法人会員 一口 10,000円

☆入会方法等、詳しくは、救世軍ホームページをご覧ください。

☆お問い合わせは、救世軍本営内「救世軍サポート会事務局」03-3237-0881 まで

## 佐野小隊(教会にあたる) 子ども食堂

栃木県佐野市にある佐野小隊(教会にあたる)は、地域  
のニーズに応え、1964年に無認可保育所をスタートし  
ました。そして2006年、佐野保育園は佐野市の認可  
保育園となり、その際、学童保育の働きも開始いたしま  
した。

小隊は、常に保育園と協力して地域の子どものため  
の働きを進めています。2017年8月より、小学校  
が休みとなる土曜日に学童保育に集まる子どもたちの  
ために、佐野保育園調理室の協力による「子ども食堂」の  
取り組みを試験的に始めました。

そして、その働きについて、2018年救世軍ニュー  
ヨーク・スタッフ・バンド日本ツアーの小冊子に掲載した  
ところ、チャリティーコンサートに出席した方から、そ  
の働きのために、と翌  
日には卵の献品の申し  
出の電話をいただきました。

「子ども食堂」に届  
いた卵は高級品でした  
ので、調理されたもの  
は色も味も良く、何回  
かに分けてごちそうを  
いただくことができました。





## 子どもたちの未来のために

救世軍の小隊（教会にあたる）、保育施設、児童養護施設では、子どもたちの心と体の健やかな成長を願って働きがおこなわれています。子どもたちが大切にされていることがわかるように、働きを支えてくださるボランティアの方々、応援してくださる方々も大切な存在です。

## 子どもたちの夢

救世軍機恵子寮チルドレンズホームミニストリー(KCM)代表  
網島 実

31年前、神様の愛を子どもたちに分かち合いたいと願う東京バプテスト教会のクリスチャンにより、私たちKCMは設立されました。最初は具体的にどのような活動してよいかわからず、当時の機恵子寮施設長でいらっしゃった長嶋少佐夫妻にご指導をいただき活動をスタートさせました。それ以来、毎年、奥多摩キャンプ、ホームステイ、クリスマス祝会、クッキングデー、老人ホーム訪問など楽しい企画の年間スケジュールを立て、月に一度、寮の子どもたちと共に時間を過ごす活動をしています。

ある日、高校2年生（当時）のA君から「英語を教えてよ」と言われました。それまでも寮からの依頼で何人かの子どもに国語や算数を教えていましたので、学習ボランティアとして週1回、2時間の勉強が始まりました。スタートしてわかったことは、スポーツでの挫折で中学時代不登校であった彼には、生活態度や精神面の勉強も必要なことでした。朝起きる練習で、6時半にモーニングコールをし、彼が将来どのように生きていきたいかについて話し合いました。そして大学進学希望をもってからは、猛勉強(?)、職員さんと一緒に協力して夢に向けて進みました。高校でも

遅刻や欠席を繰り返していた彼ですが、卒業時にはほぼ皆勤になり、一昨年の春、晴れて大学に進学することができました。22年ぶりに機恵子寮から大学生が誕生したのです。

彼が大学に行った事実により、機恵子寮の空気が一変しました。それまでは、どうせ俺たちは、私たちは、と思っていた子どもたちが、俺たちも、私たちも、進学できる可能性があるんだと思えるようになったからです。そして今、寮の中学生や高校生たちが卒園生の後ろ姿を見て、進学という夢をもって生活しています。大学や専門学校へ進学することだけがすべてだとは思いません。しかし、子どもたちにとって、将来の夢を描ける環境が用意されることは必要なことです。

神様はキリストと遠い距離にいたサウロを選び、パウロとしてキリストを宣べ伝えさせました。私には、「神様が進学と遠い距離にいたA君を選び、将来の夢を子どもたちに伝える働きを彼に与えられた」と思えてなりません。今年の2月、彼は子どもたちの心の支えになりたいとKCMのメンバーに加わりました。彼の姿を見て、一人の子どもが「どうしたらKCMのメンバーになれるの」と聞いてきました。機恵子寮に蒔かれた一粒の「芥子種」は着実に育っています。(2018年救世軍ニューヨーク・スタッフ・バンド日本ツアー 小冊子より再録)

## 祈りによって支えられる働き

救世軍本営（本部にあたる）は、毎日祈り会から始まり、救世軍の国内外の働きのために祈っています。

2017年3月19～23日には、北海道札幌市にある菊水上町保育園のために祈りました。保育園からの祈りの課題は、「この3月で17名の年長さんが卒園し、4月から小学生になります。小学生になっても、失敗を恐れず、いろいろなことにチャレンジしてほしいと願っています。これからも、健康でたくましく育つことをお祈りください」というものでした。

救世軍の働きは祈りの力によっても支えられています。



北海道札幌市 菊水上町保育園で。司令官ケネス・メイナーを迎えて



北海道札幌市 しせいかん保育園で。ハワイからの宣教チームを迎えて

|               |      |                      |            |
|---------------|------|----------------------|------------|
| 救世軍で生まれる子どもたち |      |                      |            |
| 保育園児          | 490人 | 日曜学校出席者              | 延べ5,206人*  |
| 学童保育          | 54人  | 子ども会参加者              | 延べ28,193人* |
| 児童養護施設        | 237人 | キャンプ参加者              | 延べ315人*    |
| 2017年度定員      |      | ※の延べ人数は、2017年1～12月統計 |            |



## 呉保育所 園舎完成

2017年度、広島県呉市にある呉保育所は、2016年に移転した児童養護施設愛光園の敷地に新園舎を建設しました（写真右側）。既存の園舎の増改築工事もおこない（写真左側）、メイン通りから、すばらしい環境の中で子どもたちが生まれていることがわかる景色となりました。木の温もりの中で子どもたちがのびのびと過ごせるよう、建物内部にはふんだんに木材が施されています。また、子どもと大人の目の高さの違いを生かして、どこか

らでも子どもたちの姿が見えるように配慮された設計となっています。地域の子どもたち、保護者のニーズに応える働きが、より広がっていくことを期待しています。



大自然の中で世代を超えた交流ができるファミリー・キャンプ（北海道）



大阪府 児童養護施設 希望館で



栃木県佐野市 佐野保育園に併設された学童保育「佐野こどもクラブ」の子どもたちも毎年楽しみにしている救世軍主催のキャンプ



## 青年たちが希望ある人生を生きるために

若い時代に人生の希望を見いだすことは、大きな力になります。救世軍では、国際的なネットワークを生かし、青年の人材交流の機会を提供しています。救世軍の小隊（教会にあたる）だけでなく、様々な施設でも神様の愛に裏づけられた交流がなされました。

### レボリューション・ハワイ

アメリカの救世軍は、ハワイ・オアフ島の北海岸にホメラニ・キャンプ場を運営し、このキャンプ場で、「レボリューション・ハワイ」（略称 REVHI）という3か月から12か月の弟子訓練プログラムを実施しています。そこでは、ハワイのみならず世界中の青年救世軍人が、学びと訓練を受けています。毎年、訓練の総仕上げとして太平洋諸島の島々での2か月の短期宣教に派遣されるのですが、2017年は日本に派遣されました。6月1日～7月末まで、日本の各地（北海道、宮城、栃木、神奈川県、東京、大阪等）で宣教の働きをしました。

REVHIは、メンバーのほとんどが25歳以下という若いグループでしたが、一人ひとりが明確な信仰をもち、福音を伝えたいという熱い願いをもっていました。各地で、多くの人々に良い感化と励ましを与えました。



2017年創立記念コンサートで歌を披露



各地で子ども会を開催



人々に直接声を掛けるメンバー



地域の人々を招くカフェチャーチには、多くの人々が足をとめた。カフェチャーチ後に日本の青年たちと

## 2017年の主な行事

青年デー 5月

ユースキャンプ 8月

デザイン・フォー・ライフ 9月

青年時代に、聖書を学び、同世代の人々との交流を深めることは人生に豊かさと指針を与えます。

救世軍は、青年を対象にした行事を大切にしています。



信仰による力を受けるキャンプ



九州地区のキャンプにて



自分の将来を考える機会となったデザイン・フォー・ライフ

### 学校での演奏会や講演

救世軍の活動に関する講演や、音楽コンサートを通して、神様の愛のすばらしさと、人々のニーズに応える働きの意義を伝えています。

2017年5月には、静岡県の清水国際高等学校の礼拝堂で、静清小隊1周年の記念コンサートを開催し、多くの高校生が初めて救世軍の音楽に接する時となりました。



同11月には、福岡県の折尾愛真学園で、司令官ケネス・メイナーが、中高生のための朝礼拝、短期大学生のための朝礼拝をそれぞれ導き、高校3年生の聖書科の授業もおこないました。



### アメリカ スターレイク・キャンプ

アメリカの救世軍でおこなうキャンプは、子どもから青年たちに、遊びの場ばかりでなく、音楽、演劇等の各種芸術の技術を磨く場を提供しています。

2017年夏、「スターレイク・キャンプ」という救世軍音楽の最高レベルを誇るキャンプに奨学生として、日本の青年が招かれました。

同11月には、映画化された、日本人で最初の救世軍士官（伝道者）山室軍平が学んだ同志社大学に、司令官ケネス・メイナーが招かれました。礼拝を導いた後、講演会をおこないました。



日本からの参加者（前列右から3人目）



## 生きがいある人生のために

救世軍には、2つの特別養護老人ホームと、老人保健施設、ケアハウスがあります。高齢化社会を迎えた日本において、高齢者のための働きはとても大切です。小隊（教会にあたる）でも、地域の高齢者のための集いをおこなっています。



## 高齢者介護 40年

救世軍恵泉ホーム、ケアハウスいづみ 施設長 村上 真

1977年、東京清瀬市に日本の救世軍として初めての特別養護老人ホーム（特養）恵泉ホームが開設されました。これは、都市部で深刻となってきた高齢者介護のニーズに<sup>こた</sup>える取り組みでした。結核療養所として広い敷地を有する清瀬病院の一角に開設されたことで、医療と介護の連携も実現しました。

その後、ケアハウスいづみを併設。2017年は、恵泉ホーム40周年、ケアハウスいづみ15周年を記念する年でした。記念誌も発行し、これまでの歩みを振り返ることができました。

2017年度、恵泉ホームは12人の新規入居者を迎えました。利用者平均年齢は88.4歳（最高齢106歳）となりました。100歳以上は2人、90歳以上は22人で、全体の48%と高齢化が進んでいます。

延べ1,480人のボランティア（ご家族含）が、行事・クラブ活動、食事介助、朝礼、シーツ交換、リネン、園芸、営繕・環境整備等を助け、利用者サービスの向

上に協力くださいました。また、施設としては、<sup>あまも</sup>雨漏り箇所の補修工事、リネン室廊下クロス張替、移送用リフトカー・電動ベッド4台更新をおこないました。

ケアハウスいづみは、2002年に救世軍初のケアハウスとして、質素で素朴、安心生活を誰にでも安価に提供することをコンセプトに開設されました。開設から15年間で92人の利用者を迎え、現在も申し込み問い合わせが絶えません。常時200人以上の待機者があり、ケアハウスの必要性の高さが示されてきました。

ケアハウス事業は都市では無理と考えられましたが、営利を目的としない救世軍の精神により、徹底した低価格ケアハウスを実現、周囲も驚く申込者を得ました。

現在、利用者32人のうち10年以上の在籍者は11人。長期間にわたり安定した生活を送っておられます。新規利用者は2人。利用者の平均年齢は87.0歳（最高齢98歳）。85歳以上は23人です。施設整備では、脱衣場床材張替、浴室前廊下クロス張替、移送用リフトカー更新（恵泉ホーム共用）などをおこないました。（写真上は、毎年9月におこなわれている敬老祭。90歳以上の方を特別にお祝いしました）

## 柏寿会 地域の高齢者のために

救世軍では、60歳以上の方を対象とした集いのことを柏寿会と命名し、小隊（教会にあたる）に地域の高齢者を招いて、食事を囲んだり、レクリエーションや生活に役立つ講演会などを通して楽しい時を過ごしています。

全国に16の柏寿会があり、469人の会員がいます。このために、家庭団という女性のグループや、コミュニティー・ケア・ミニストリーズ（略称CCM・10ページ参照）が、ボランティアとして奉仕し、毎回工夫を凝らしたプログラムを提供しています。



終活について学ぶ参加者（西新井小隊）

## 最期の時まで恵みの家で

救世軍恵みの家 施設長 細貝 順子

開設5年がたち、現在、特養として10人でのユニットが7つ、ショートステイとして10人、計80人の方々の生活です。

開設当初からの願いでした、「最期の時まで」を実現するために、ブース記念病院、チャプレン室の協力も得て、ようやく「恵みの家の看取り」をさせていただく準備が整い、2017年より始まっています。



地域の風景に溶け込むように、と設計された恵みの家

## 高齢者介護の国際会議に参加

日本の救世軍は、国際的な区分によって、南太平洋及び東アジア地域に属しています。同じ地域に属する、オーストラリア、韓国、パプアニューギニア、香港・マカオ、フィリピン、インドネシア、日本といった国や地域から、高齢者の働きに従事する人々が集まり、国際会議が開催されました。

これは、日本はもとより、著しいスピードで高齢化する社会にどのように対応すべきかについて、各国の状況や技術を共有する有意義な時となりました。終末期ケアにおけるスピリチュアル（霊的）なニーズや、メンタルヘルス、高齢の街頭生活者の問題など、多岐にわたる課題を共有し学び合う時となりました。



先日、開設のころからおられたおひとりの方が2カ月近い看取りの時を経て、天に召されました。

お部屋の扉はいつも開いていて、一緒に生活しているみなさんの声が聞こえ、歌が聞こえ、風が抜けていく、その中でご家族やユニットのみなさんと過ごし、静かに本当に静かに息を引き取られました。同じユニットのお一人おひとりがベッドサイドでお別れをしました。


その数分前のことでした。大好きな『知床旅情』を枕元で歌う職員の顔を、大きく目をあけて語りかけるようじっと見つめ、何度も聞いて、間もなく、フツと息を止められました。

ご家族は、「最後までみなさんと過ごし、こうしてお見送りいただき本当に嬉しい、淋しくありません、ここで良かったです」と話してくださいました。

恵みの家での毎日が最期まで続くようにと、お委ねくださったことは、担当スタッフの日々のケアへの何よりの温かい評価であった、と受け止めています。

ある職員の研修レポートに、「自分たちの仕事は、とてもシンプル。誰にでもできることを、誰にも真似ができないぐらい本当に大切な人という思いを込めて、繰り返す、そしたら自分の何かが変わるのか……」とありました。とても励まされる言葉でした。

いつの間にか、「ここで大切なことは」ということがそんなに大きくぶれずに職員の中に分かち合っている。感謝です。6年目に入りました。



映画『地の塩 山室軍平』  
（現代ぶろだくしょん制作）が、  
2017年秋、全国各地で  
一般公開されました。

世の苦しむ人々を救いたいとの情熱を捧げた山室軍平と同志たちが、日本の社会福祉の働きに  
いかに大きな足跡を残したかを知る  
ことのできる作品となっています。

## 映画『地の塩 山室軍平』公開記念シンポジウム開催

2017年9月22日（金）、日本で救世軍の活動が開始されて122年を記念する日に、救世軍山室軍平記念ホール（東京・神田神保町）で「『愛の人』山室軍平誕生秘話」のテーマのもとおこなわれました。

映画監督の東條政利氏（写真）による映画撮影秘話、主演俳優森岡龍氏の役作りに対する思いなどが語られ、同志社大学社会学部教授木原活信氏が、同志社の創立者・新島襄の精神を実現した人物としての山室軍平について講演しました。





## キリストのように人々に仕えるために

「心は神に 手は人に」をモットーに、人々に仕える救世軍。各地の街頭生活者支援は、救世軍の小隊（教会にあたる）・病院・施設の協力と、働きに賛同して下さるボランティアの助けを得ておこなわれています。そのほかにも様々な状況にある人々を支援しています。

### わたしの兄弟として

イエス・キリストの言葉、「わたしの兄弟であるこの最も小さい者の一人にしたのは、わたしにしてくれたことなのである」（聖書・マタイによる福音書 25 章 40 節）は、救世軍の地域奉仕のグループ、「コミュニティー・ケア・ミニストリーズ」（略称 CCM）の働きの土台となっています。CCM は、救世軍の建物内での支援にとどまらず、地域の社会福祉施設を訪問してのボランティアや、街頭生活者支援などをおこなっています。

横浜小隊では、敷地を利用して給食活動をし、83 人のボランティアで、340 人の方に（2017 年 12 月～2018 年 3 月延べ人数）、西成小隊では、毎月第 3 木曜日に街頭給食として、310 人のボランティアで 1,382 人の方に（2017 年 1 月～12 月延べ人数。除く 8 月）、会館内の給食活動として、357 人のボランティアで、2,853 人の方に（2017 年 1 月～12 月延べ人数）、福岡小隊では、毎月最終日曜日に、116 人のボランティアで 268 人の方に

（2017 年 1 月～12 月延べ人数）、食事や日用品を提供しました。（写真は、大阪市西成区西成小隊の外観と会館内での給食活動）



### 東京地区での街頭生活者支援

冬期（12～3 月）には、東京地区において街頭生活を余儀なくされている人々を訪ねて、手作りの食事を届ける「街頭給食」が毎週 3 回おこなわれています。

また、4～11 月には月 1 回、食品と日用品を提供する働きをおこなっています。



|       | ボランティア | 利用者    |
|-------|--------|--------|
| 街頭給食  | 433人   | 3,433人 |
| 日用品配布 | 124人   | 1,139人 |
| 合計    | 557人   | 4,572人 |

2017. 1～12の統計

### 刑務所での支援

長年にわたり宗教教誨師として（以前はアルコール依存症問題の教育も担当）刑務所での支援をしている救世軍士官（伝道者）が、2017 年に法務大臣表彰を受けました。

救世軍は、各地の刑務所で、宗教教誨、クリスマス慰問、救世軍自省館（右記参照）の職員によるアルコール問題の教育などの支援をしています。

### 女性のための働き

救世軍は、困難な状況にある女性のため、明治時代に「婦人救済所」を開設しました。そして、現在にいたる婦人保護の働きは 1947 年に開設され、2017 年には 70 年を迎えました。

70 年前、終戦直後の日本には、「人身取引」（売春の強要や強制労働にいたる人の売買）、あるいはそれに近い形で被害を受けた女性が多くおり、法律や制度によるサポートが整っていない中で働きが始められたのでした。

救世軍は、今も変わらない問題、新しい課題と向き合いながら女性のための支援やサポートをおこなっています。

現在、救世軍には、2 つの婦人保護施設があります。（両施設合わせて定員 110 人）

### アルコール依存症に苦しむ人々へ

救世軍は、1977 年、東京都で初めてのアルコール依存症問題に対応する専門施設「救世軍自省館」（アルコール依存症総合専門施設・救護施設・定員 50 人）を設置し、現在まで働きを続けています。

近年、アルコール依存症と他の病気との合併症をもつ方の比率が高くなり、施設利用者に対する個別の支援体制を組むことが必須です。また、地域の方々にアルコール依存症についての理解を深めていただくために、年に 1 回、地域での講演会を開催しています。

## 医療の働き

東京都杉並区と清瀬市にある救世軍の病院は、かつて結核療養所としてそれぞれの場所で医療の働きを始めました。現在は、両病院ともホスピスを有する一般病院として、身体的、精神的、霊的、社会的なニーズに応える働きをしています。

### 20年来のボランティア

救世軍清瀬病院ボランティア 神戸静子

1995 年から、救世軍清瀬病院でボランティアをしています。友人が他の病院でボランティアをしていらっしゃる、病院ボランティアがあることを知りました。こちらの病院にどうして来るようになったのかは覚えがありませんが、20 年以上続けてこられたのは、病院のスタッフの方や先輩のボランティアの方のおかげです。

私たちボランティアは、曜日ごとに少しずつやることは違います。昼食時のお茶の配布、患者さんのお散歩の付き添い、お買い物をご一緒にしたり、代行したり、お話相手等々は、すべてボランティアがやらせていただいております。

私は木曜日に来ていますが、午後からはティータイムやミュージックタイムがあります。

ミュージックタイムは、参加なさった患者さんのリクエストに沿って音楽療法士の先生と一緒に楽しいひと時のお手伝いをします。

季節の行事のイースターの集い、クリスマスの集いの飾りつけ、特に七夕は病院の敷地内の笹を使い、デ



イルームの天井まで届く飾りつけをします。七夕の飾りやクリスマスツリーの飾りも、患者さんの家族の方々がいらっしゃる時にはお声をかけて一緒に飾ることもあります。少し現実から離れ、ほっとされるようです。

私が心がけていることは、患者さんのご要望には、「後で…」ではなくできるかぎり早く沿うように心がけております。

心穏やかに、気持ちよく病院での生活を送られるように、お手伝いしていきたい、と思っております。

### リハビリに通って37年！

救世軍ブース記念病院利用者・杉並区在住 柴 良子



快晴の朝、今日もブース記念病院のリハビリに頑張っている。

時計を見ながら身支度をする。私の日課が始まる。

振り返ると、なんと 37 年間。10 年 1 日のごとく、来る日も来る日も頑張ってきました。それもこれもブース記念病院のリハビリの先生方の温情と良き指導に支えられて 37 年目を迎えられました。

この先何年かはわかりませんが、1 日 1 日を大切に、心豊かに過ごしていきたいと思っております。



ブース記念病院の一角にある「ブースの森」は地域の方の憩いの場

|                 | ブース記念病院 | 清瀬病院    | 合計       |
|-----------------|---------|---------|----------|
| 病床数             | 199     | 142     | 341      |
| （うちホスピス病棟病床数）   | 20      | 25      | 45       |
| 初診外来患者数         | 1,535人  | 577人    | 2,112人   |
| 入院患者数           | 64,060人 | 38,012人 | 102,072人 |
| 新規入院患者数         | 430人    | 396人    | 826人     |
| （うちホスピス新規入院患者数） | 101人    | 151人    | 252人     |

2017. 1～12の統計



# 災害救援・復興支援活動

2011年の東日本大震災の被災地での働きは、7年を経た今もおこなわれています。また、2017年は、九州地区で大雨による洪水被害がありました。救世軍は、他の団体との協力のもとに様々な支援を展開しています。

## 東日本大震災復興支援

救世軍は、2016年4月より米国 S A W S O (救世軍ワールド・サービス・オフィス)の資金によって、宮城県女川町と南三陸町での復興支援の働きを続けています。

■「女川向学館」(認定NPO法人カタリバ)は、放課後の学習支援と心のケアの働きをしています。

2018年春に中学校を卒業し高校に進学する生徒4人が、3月23日、女川向学館のスタッフと共に救世軍本営(本部にあたる)を訪問。4人の生徒は震災当時、小学校2年生。大津波の被害により、長い間仮設住宅で暮らしていた人もいました。救世軍等の支援により、勉強も暮らしも継続でき、中学を卒業するに至った、と救世軍への謝辞と感謝状をいただきました。また、生徒と本営職員との間で、「人生の歩み方について」の熱心な質疑応答がありました。

後日、参加者が訪問を通して決意したことを記す作文のコピーが本営に送られてきました。中には、訪問を通して夢の実現に向かって歩み出す決断をした生徒もあり、良い交流の時間であったことがうかがわれました。



■「きらら女川」は、障がい者就労支援施設です。女川駅前に2015年にオープンした商店街「シーパルピア女川」に店舗をもって、女川の豊かな食を全国に発信しています。https://kiraraonagawa.wixsite.com/home

2月はわかめ収穫の時。2018年春は、昨年の1.5倍の量のわかめの加工をおこないました。2017年末より、石巻の高級料亭へ卸すことができるようになりました。



## 九州水害被災地支援

2017年8月11日、7月の豪雨の被災地福岡県朝倉市杷木地区の公民館で、救世軍九州地区の士官(伝道者)たちが、食料品配布の支援をおこないました。九州キリスト教災害支援センター(九キ災)のスタッフやボランティアの協力を得て、地域の住民と泥出し作業等のボランティアの方々へ、手作りの弁当、冷たいお茶、ゼリーや個包装の梅干を提供(43食)。その他、九キ災日田ベースに、パウチタイプのスポーツ飲料を150個届けました。



## 福島から避難している方への支援

2017年12月19日、福島県より東京・東雲に避難している方の自治会「東雲の会」が開催している「サロン」に前年に引き続き参加し、クリスマス会を開催しました。「サロン」は、情報交換や心身共に健康を維持するための集まりです。

江東区社会福祉協議会の協力を得て、「サロン」に参加した方々と、ブラス・バンドアンサンブルやキーボードに合わせてクリスマスや日本の歌を歌い、ケーキとお茶を楽しみながら交流の時をもちました。救世軍からは、30組のぜんざいと餅をプレゼントしました。



## 協力体制のもとでの支援のために

2018年2月、救世軍は、特定非営利活動法人 全国災害ボランティア支援団体ネットワーク(JVOAD)の正会員となりました。JVOADは、次のことを目指しています。・支援者の力を最大限に活かすため、多様な担い手と共に全国ネットワークを築き、円滑かつ効果的な支援をするため、コミュニケーションの場を作る。・災害に備え、多様な担い手と共に啓発・理解促進、政策提言などをおこなう。

# 海外での支援活動



2017年も、世界各地で大きな災害が頻発しました。

■スリランカ 4月14日、スリランカの首都コロンボ近郊で、ごみ処分場の90メートル以上の高さだった堆積物の山が崩落しました。この地域の145棟の住宅が堆積物に飲み込まれ、32人が亡くなりました。(2017年4月21日現在)救世軍はすぐに崩落地域を訪ね、550人分の食事を提供しました。ちょうどスリランカを訪問中であった救世軍大將アンドレ・コックス夫妻も支援活動に参加しました。…写真1

■アメリカ 8月25日、テキサス州南部にハリケーンが上陸し、一帯に500年に1度と言われる洪水被害をもたらしました。特に、ヒューストンは5日間降り続いた雨によって深刻な冠水被害に見舞われ、2万人以上が避難せざるを得なくなりました。ヒューストンや近隣の救世軍は避難所を開設し、食事や衣服を提供しました。…写真2、3

■メキシコ 9月7日夜に起きたメキシコ南部沖でのマグニチュード8.1の地震に続き、19日、首都メキシコ・シティ周辺でマグニチュード7.1の地震が発生しました。7日以降、救世軍の国際的なネットワークによる援助を受けつつ支援活動がおこなわれていた中での地震でした。

この地震の直後には、メキシコ・シティにある救世軍の児童養護施設が、救援活動の拠点の一つとなり、子どもたちは協力して軽食の準備に携わりました。…写真4

■インド 12月1日、大型サイクロン「オキ」による大雨と強風は、インド南部に位置するケララと、タミル・ナードゥ両州に大きな被害をもたらしました。現地の救世軍は、被害の状況を把握しつつ、まず食料と飲用水、衣類、寝具のほか必要最低限の日用品を600世帯(子ども1,200人以上を含む)に配布しました。…写真5

## 2017年海外支援のための献金報告

一元献金 1,077,938円

フィリピンの「ベタニア・ガールズホーム」のために献げられました



克己週間募金 15,039,600円

2017年春におこなわれました克己週間募金にご協力いただき、ありがとうございました。心からの感謝とともに、結果をご報告申し上げます。

|        |            |
|--------|------------|
|        | (単位:円)     |
| 北海道地区  | 682,400    |
| 関東東北地区 | 1,653,999  |
| 東京東海地区 | 6,784,140  |
| 西日本地区  | 2,369,200  |
| 医療部    | 515,928    |
| 社会福祉部  | 1,694,850  |
| 士官学校   | 1,241,565  |
| 本営(本部) | 97,518     |
| 全国合計   | 15,039,600 |



ハリケーンの被災者を訪問(キューバ)



1



2



3



4



5



# 開設記念を迎えた小隊 (教会にあたる)



1



2



3



4

## 第1回救世軍社会鍋俳句コンテスト

2016年末、より多くの人に社会鍋を知っていただく機会になることを願い、第1回救世軍社会鍋俳句コンテストへの作品募集がおこなわれました。

翌年3月31日までに日本全国から231句寄せられ、三浦喜代子氏(日本クリスチャンペンクラブ代表)、他の選者による厳正なる選考の結果、下記の句が入賞しました。

社会鍋 うなじであやつる 車椅子 埼玉県・関口まさや [特別賞]

社会鍋 祖母の生まれし 明治より 東京都・野原てい子  
社会鍋 幼子の手に 意を託し 岡山県・武田 忍 [ほのぼの賞]

にっこりと スマホにおさまる 社会鍋 宮城県・羽田早苗  
爪先で 覗きこむ児の 社会鍋 埼玉県・坂本弘國

鍋にささげ 両手合せし 老婆あり 東京都・朝野 洋 [社会福祉部長賞]

しゃかいなべ みんなのあいが つまってる 広島県・呉保育所年長組 13人



受賞された方を囲んで (2017年6月11日)

### 写真

- 1 京都小隊110周年記念集会参加者
- 2 帯広小隊95周年イベントの様子
- 3 高松小隊再開設60周年記念集会参加者
- 4 桐生小隊115周年記念集会参加者

## 2017年感謝祭募金結果報告

2017年9月1~30日におこなわれた感謝祭の募金活動にご協力いただき、ありがとうございます。心からの感謝とともに、結果をご報告申し上げます。

|        | (単位:円)     |
|--------|------------|
| 北海道地区  | 905,600    |
| 関東東北地区 | 2,076,582  |
| 東京東海地区 | 7,025,648  |
| 西日本地区  | 2,738,800  |
| 医療部    | 442,400    |
| 社会福祉部  | 1,645,608  |
| 士官学校   | 1,220,105  |
| 全国合計   | 16,054,743 |

2017年新刊書『新訳 聖潔のしおり』『聖潔の葉』増訂新版 サムエル・ブレングル著 東京若枝教会牧師 飯塚俊雄訳



価格1,000円(税別)

『キリスト者の朝昼晩』山室軍平著



価格300円(税別) ご注文は救世軍出版供給部へ

# 小隊 (教会にあたる)・社会福祉施設・病院・その他施設

## 北海道連隊 (地区)

本部 札幌市北区北22条西5丁目1-5 TEL 011-788-5352  
 遠軽小隊 0158-42-3409 札幌小隊 011-788-5352  
 釧路小隊 0154-25-5367 函館小隊 0138-22-8851  
 帯広小隊 0155-23-4877  
 札幌市しせいかん保育園 011-204-9560  
 桑園保育所 北海道札幌市 011-221-6630  
 菊水上町保育園 北海道札幌市 011-821-2879



## 関東東北連隊 (地区)

本部 高崎市寄合町5 TEL 027-323-1337  
 桐生小隊 0277-45-3117 長野分隊 027-323-1337  
 前橋小隊 027-231-9533 仙台小隊 022-273-2368  
 高崎小隊 027-323-1337 若松小隊 0242-28-9795  
 佐野小隊 0283-21-5939 新潟小隊 025-229-2003  
 熊谷小隊 048-522-2477 浪江小隊 022-273-2368 (震災被害のため現在休止中)

佐野保育園 栃木県佐野市 0283-22-4081 (併設:学童保育「佐野こどもクラブ」)

## 東京東海道連隊 (地区)

本部 東京都墨田区太平4-11-3 TEL 03-6261-5701  
 麻布小隊 03-3408-5616 渋谷小隊 03-6261-2447  
 上野小隊 03-3873-5386 杉並小隊 03-6256-8191  
 大森小隊 03-6272-9771 月島小隊 (現在改築工事中)  
 川口小隊 048-267-9799 西新井小隊 03-3889-3894  
 神田小隊 03-3263-0848 横浜小隊 045-714-6060  
 京橋小隊 03-3551-0337 静清小隊 054-365-8270  
 清瀬小隊 042-491-7600 浜松小隊 053-452-6717  
 江東小隊 03-6261-5702 名古屋小隊 052-935-7875

児童養護施設・機恵子寮 東京都  
 児童養護施設・世光寮 東京都  
 婦人保護施設・婦人寮 東京都  
 婦人保護施設・新生寮 東京都  
 男子宿泊施設・新光館 東京都新宿区 03-5860-2818

アルコール依存症者支援施設  
 自省館(救護施設) 東京都清瀬市 042-493-5374  
 男子社会奉仕センター 東京都杉並区 03-5860-2992

救世軍バザー場 東京都杉並区 03-5860-2992  
 オープン 毎週土曜日9~13時半  
 中野富士見町(東京メトロ丸の内線)より徒歩10分  
 江東出張所 東京都墨田区 03-6261-5704  
 オープン 毎週土曜日10~15時  
 錦糸町(東京メトロ半蔵門線/JR)より徒歩10分  
 ○両施設共寄贈品受付、お問い合わせは03-5860-2992まで

山室軍平記念救世軍資料館  
 〒166-0021 東京都杉並区和田2-21-39 TEL 03-6256-8194  
 日本における救世軍の資料や、山室軍平に関する文書、資料を所蔵。祝祭日を除く毎土曜に開館(10時~16時)しています。(ただし、指定参観希望日があれば、週日も受け付けいたします)

救世軍士官学校  
 〒166-0021 東京都杉並区和田1-39-5 TEL 03-6256-8262  
 救世軍士官(伝道者)を養成する学校です。全寮制で、2年間の学びがなされます。

## 西日本連隊 (地区)

本部 大阪市北区天神橋3-6-20 TEL 06-6351-0084  
 京都小隊 075-343-3726 呉小隊 0823-25-4794  
 天満小隊 06-6358-6679 高松小隊 087-851-0752  
 泉尾小隊 06-6551-9187 高知小隊 088-822-0365  
 西成小隊 06-6661-3590 八幡小隊 093-652-1584  
 神戸小隊 078-341-4594 福岡小隊 092-531-7418  
 岡山小隊 086-227-9029 鶴橋分隊  
 福山小隊 084-926-3151 塚本分隊  
 広島小隊 082-262-3776

児童養護施設・希望館 大阪府  
 児童養護施設・愛光園 広島県 (併設:児童家庭支援センター「明日葉」)  
 児童養護施設・豊浜学寮 広島県  
 呉保育所 広島県呉市 0823-21-4711  
 大阪アベノ地下街救世軍カウンセリング・ルーム 06-6773-2956

救世軍ブース記念病院  
 〒166-0012 東京都杉並区和田1-40-5 TEL 03-3381-7236 (代)  
<http://boothhp.salvationarmy.or.jp>

〈診療科目〉内科、消化器内科(内視鏡)、循環器内科、神経内科、精神科、整形外科、皮膚科、リハビリテーション科、ホスピス外来、漢方内科、各種健康診断、199床(療養病棟147床、一般病棟32床、緩和ケア病棟(ホスピス)20床) (入院随時)



(財)日本医療機能評価機構認定病院。どなたでもご利用いただけます

老人保健施設・ブース記念老人保健施設 グレイス  
 東京都杉並区 03-3380-1248  
 (併設:ブース記念ケアマネジメントセンター和田、ブース記念訪問介護ステーションルツ・ナオミ)

特別養護老人ホーム・恵みの家(ユニットケア型)  
 東京都杉並区 03-3381-7243

救世軍清瀬病院  
 〒204-0023 東京都清瀬市竹丘1-17-9 TEL 042-491-1411 (代)  
<http://kiyosehp.salvationarmy.or.jp>

〈診療科目〉内科、循環器内科、呼吸器内科、皮膚科、リハビリテーション科、緩和ケア内科、142床(療養病棟117床〔うち介護保険病棟43床〕、緩和ケア病棟(ホスピス)25床) (入院随時)



(財)日本医療機能評価機構認定病院。どなたでもご利用いただけます

特別養護老人ホーム・恵泉ホーム  
 東京都清瀬市 042-493-5161  
 ケアハウスいずみ(恵泉ホーム併設) 042-496-7575  
 (併設:ホームヘルプステーションいずみ)

救世軍年次報告2017-2018  
 発行 救世軍本営 代表者 ケネス・メイナー  
 〒101-0051  
 東京都千代田区神田神保町2-17  
 TEL 03-3237-0881 Fax 03-3237-3588  
 ホームページ <http://www.salvationarmy.or.jp>